事例②

まちは教室　ひとは先生　みんなのまちの掲示板 『ためまっぷ』
～ゆるくつながる重層的な社会情報基盤の活用事例～

住民主体のまちづくりを応援する地域情報共有アプリです。実は、地域で孤立しているのは紙世代よりもスマホ世代です。
1　投稿権限の管理機能で安心
2　チラシを活用した簡単な情報発信
3　半径距離を絞って見つけやすく

明日やろう,今日行こうを誰もができるサービスを提供しています。
町内会から市民センター,自治体などの単位で運営し,住民満足度は98%,地域参加1.5倍,ターゲット世代リピートユーザー率90%の実績があります。
子育て世代は喜び,シニア活動団体も参加が増えて活気が出る多世代多様で重層的な地域を共創しています。
今回,コロナ禍で一層深まる地域のつながりの事例も共にご紹介します。

ためまっぷ

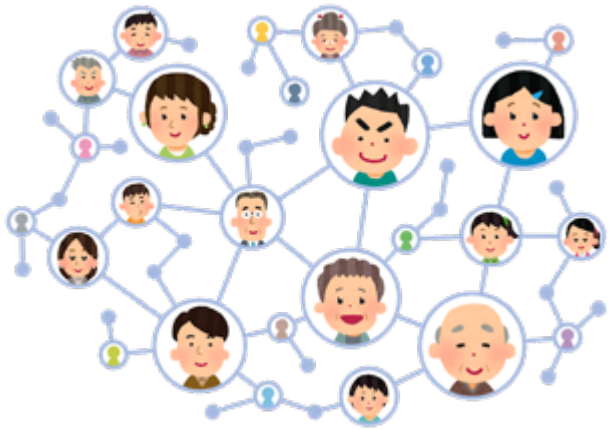
従来からの課題認識：地域内コミュニティの希薄化

近所に
知り合いがいない
地域と
つながりたい

結婚出産を機に引越

地元から離れて就職

コロナ禍での課題認識：オンライン化による「地域内孤立」の加速



オンラインで遠くの人とは簡単につながれる

一方で、リアルなつながりは．．．．

テレワークが進むなど、「地域内孤立」はより加速

ミッション

地域情報インフラを共創し、地域共生社会をつくる

地域情報インフラ：　自治体、活動団体、住民など、立場の異なる人たちと共創
地域共生社会：　地域情報を知りたい人と知ってほしい人をつなぐことで実現

多様なテーマの地域情報発信で地域共生社会づくりに取り組み中

サービスのご紹介

ためまっぷサービスのきっかけ：つながり機会の損失

参加者：

- スマホで探すが見つからない

イベント主催者：

- 図書館や公民館のラック
- ネットでも発信（情報分散）

つながれない

地域活動の存在を知らない人：**７割**

（神戸市長田区 住民アンケートより）

解決策：紙チラシをスマホで撮影して配信

『投稿』機能：近所情報を１分で投稿

Step1

Step2

Step3

『閲覧』機能：近所情報を１０秒で検索

- 歩いて行ける
- 自転車で行ける
- 車で行ける

- 半径距離を絞って見つけやすく

- 今日行こう／明日やろうを誰もができる

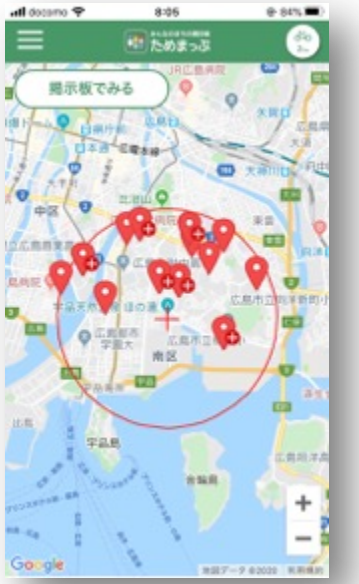
今日午前

今日午後

明日午前

ためまっぷシリーズ

Webアプリ版



Webサイト版

2021年3月：東広島市すきかも

4月：品川区すまいるネット

広島さとうみネットワーク

地域情報見える化の効果

地域情報

ひと

- 活動する個人／団体

こと

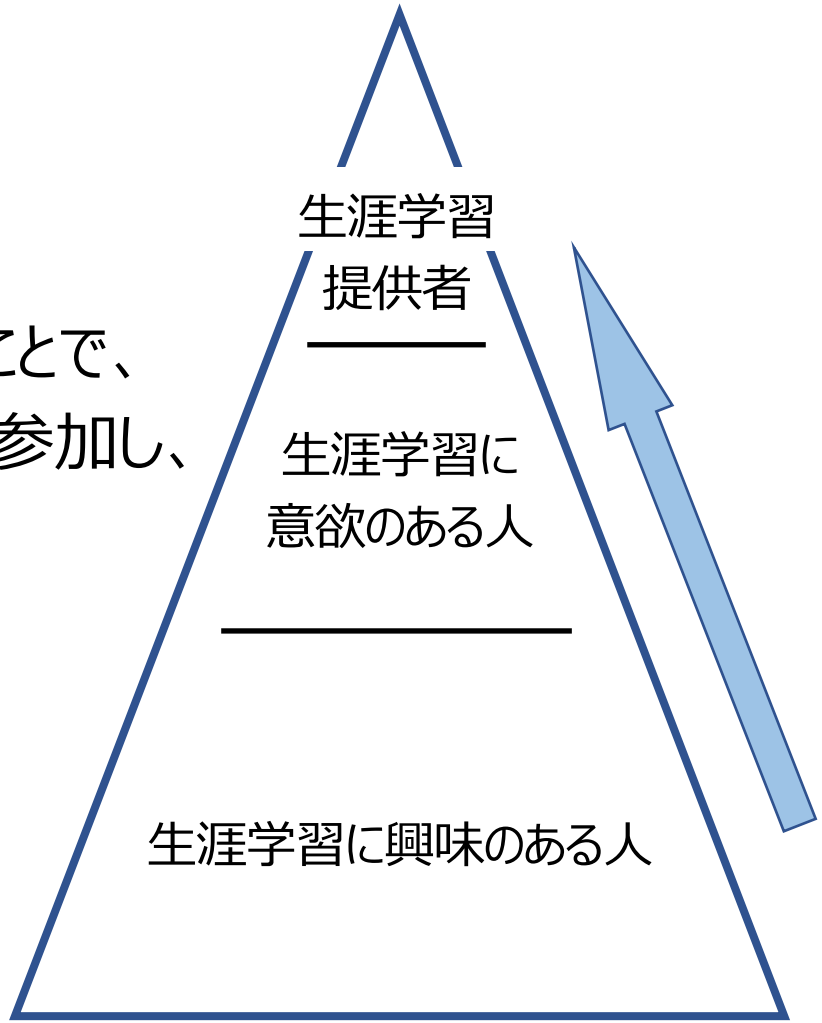
- イベント・体験
- お手伝い／メンバー募集
- 活動報告

もの

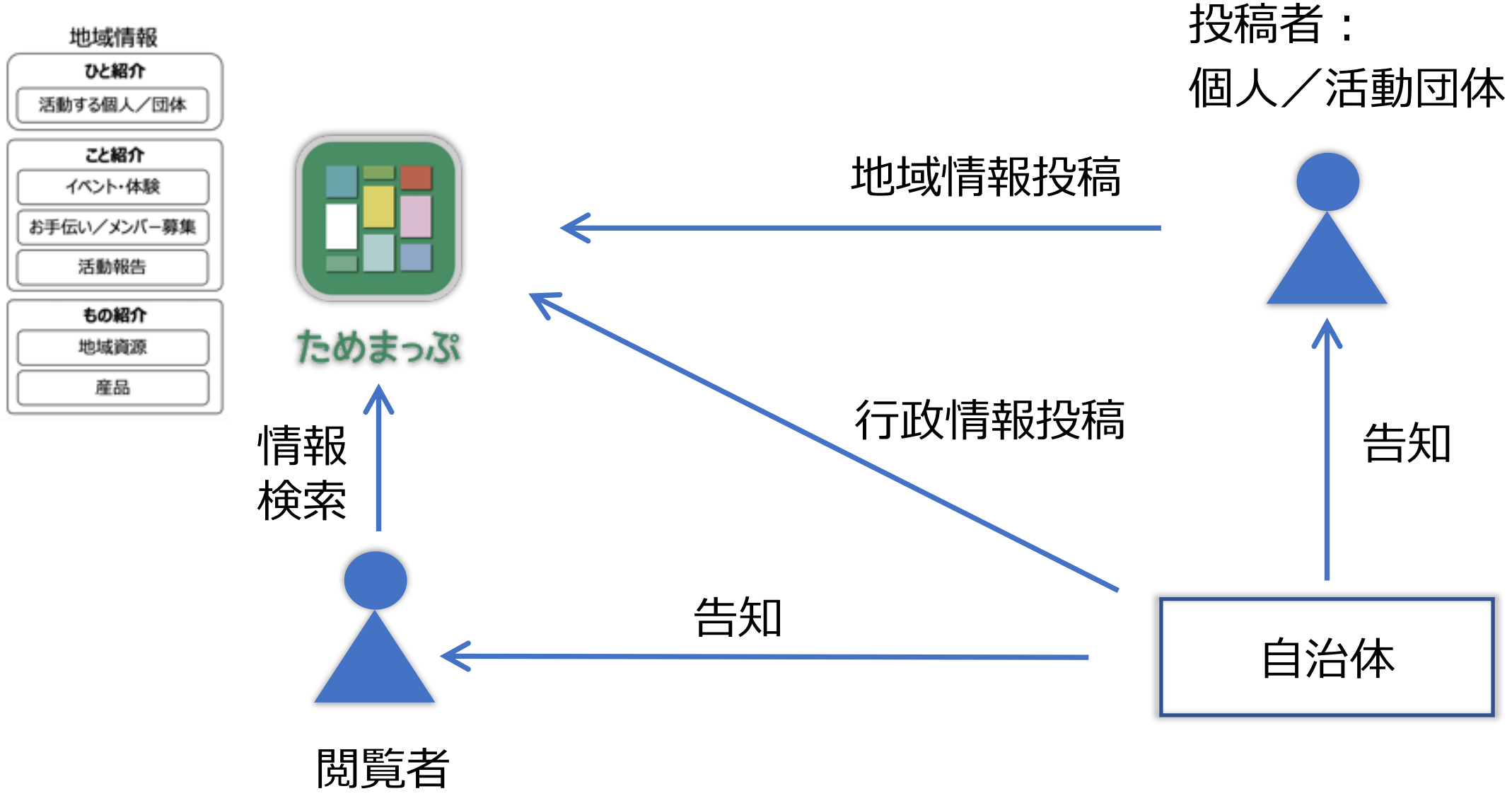
- 地域資源
- 産品

地域情報を知ることで、
生涯学習機会に参加し、
ひとがつながり、
地域共生社会へ

効果：生涯学習人口創出



地域情報プラットフォームの仕組み



これまでの実績（活用事例）

子育てイベント発信

共創：

- 神戸市長田区まちづくり課
- 子育て支援のシニア活動団体
- ためまっぷ

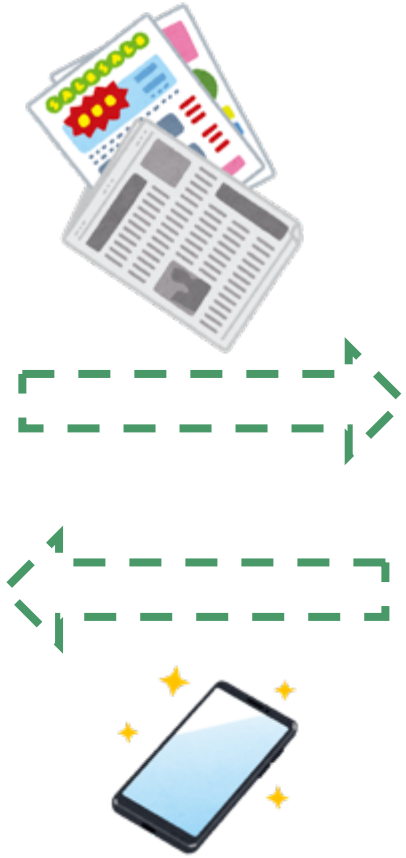
課題：情報が届かない

地域のイベント主催：シニア

ひと月に60回以上
子育て支援
イベント開催

区の広報紙やチラシに加え、
WebサイトやSNSも
個々に既にやっている

参加者が増えない・いつも同じ人ばかり
「どうやって知らせようか？」



子育てお母さん

スマホで探しても
過去の記事や
遠くの情報ばかり…

お出かけしたいが見つからない
「どうやって探そうか？」

ためまっぷ導入成果

サービス導入4か月後

参加者数

1.5倍

サービス満足度

98%

継続利用1年後

- 利用状況
  - 延べ閲覧回数　10万PV
  - 累計利用者数　5,800人
  - 対象人口(乳幼児の親)の利用率推計　90%
  - 継続利用　25%
- お母さんの声
  - 切羽詰まった時でも**「かけこめる場所が見つかった」**
  - **「このサービスのない地域に引っ越したくない」**
- シニアの活動団体の活気向上
- 区外からの参加者増 → 移動滞在・交流人口
- 商店街への新規客が3割増

市民のつながり創出

共創：

- 品川区 地域活動課（東京都）
- ためまっぷ

品川区長期基本計画の実現サポート

基本構想

↓

長期基本計画

↓

実施計画

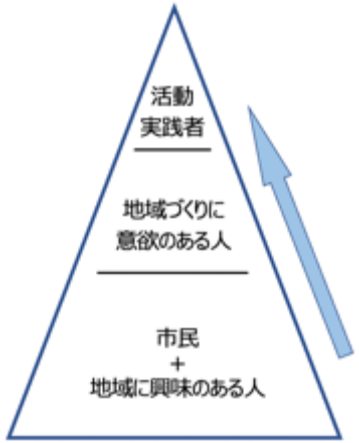
↓

予算・事業執行

- 人　すこやか　共生
- 安全　あんしん　持続
- 地域　にぎわい　活力
  - 誰もがつながる魅力ある地域社会の実現
  - 学びとスポーツの楽しさが拡がる環境づくり
  - 伝統・文化を継承し親しむ環境づくり
  - 地域の活力を高める産業の振興
  - まちの魅力を活かした都市型観光の推進
  - 魅力的で良好な都市景観の形成
  - 水と親しむみどり豊かなまちづくり

ためまっぷ活用領域

効果：活動人口創出



品川区との10年先を見据えた協働まちづくり（４月に導入予定）

- 521の地域団体の活動を可視化して活動の質向上
- 団体間連携による活動活性化

区民活動サイト

団体ごとの
ミニホームページ機能

1年目

活動の活発化

発信コンテンツと
活動の質を向上

2年目

団体連携

さらなる質向上と
継続性担保

3年目以降

サイト利用者の声をもとに、継続的に機能アップ

市政と中間支援団体の
ハイブリッド情報発信

共創：

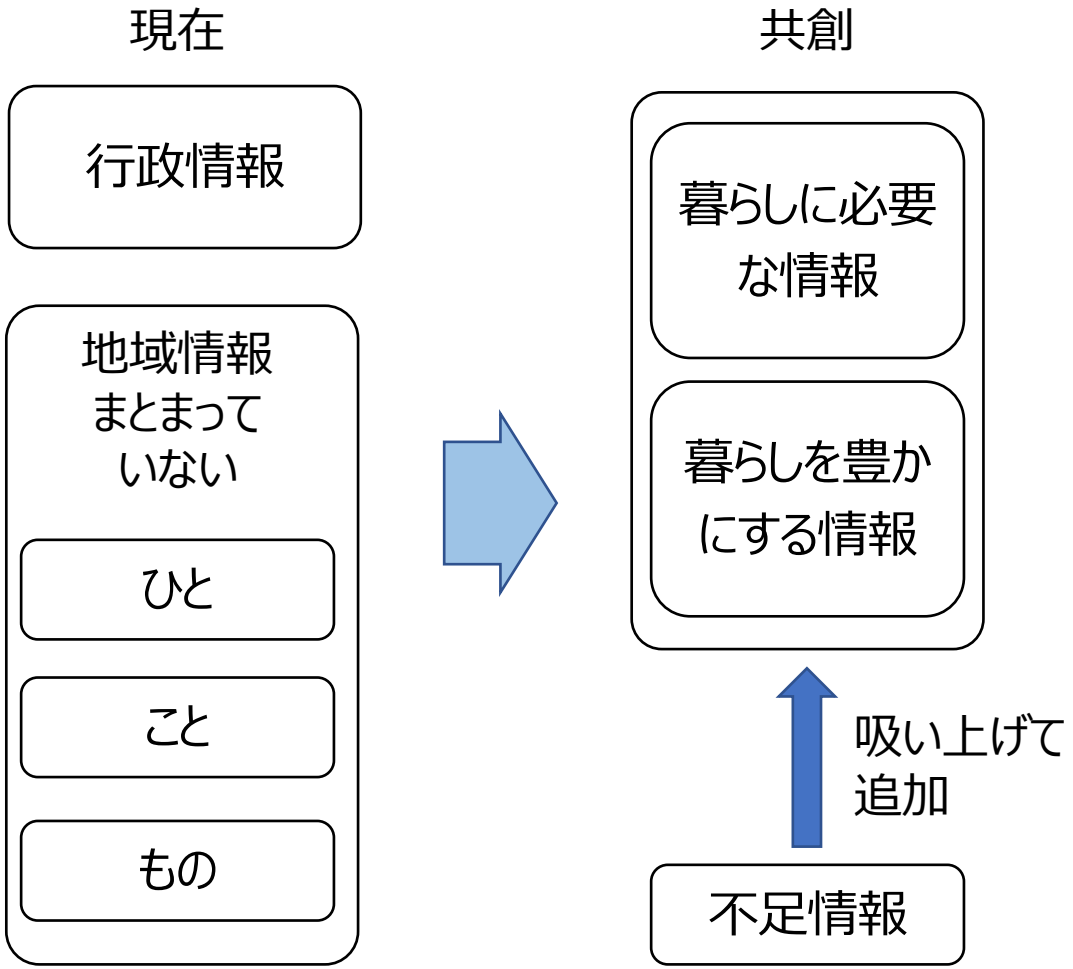
- 豊橋市多文化共生・国際交流課（愛知県）
- 国際交流協会（公益財団法人）
- ためまっぷ

豊橋市多文化共生（Urban Innovation Japanで採択）

外国人市民人口：約19,000人（人口の5%）。大半は日本語能力が十分ではない。

豊橋市の課題：

- 市役所からの情報が確実に届き、市民向け支援施策の活用を増やす
- 市政情報へのアクセスが高まり、市の施策やまちづくりへの関心を高める



地域資源発掘＆発信

共創：

- 府中町社会福祉協議会（広島県）
- ためまっぷ

府中町社会福祉協議会：地域お助けマップ

- 生活に必要な施設の見える化
- 地域資源活用促進
- 暮らしのシェア

まちづくり拠点運営

共創：

- 富谷市産業観光課（宮城県）
- ためまっぷ

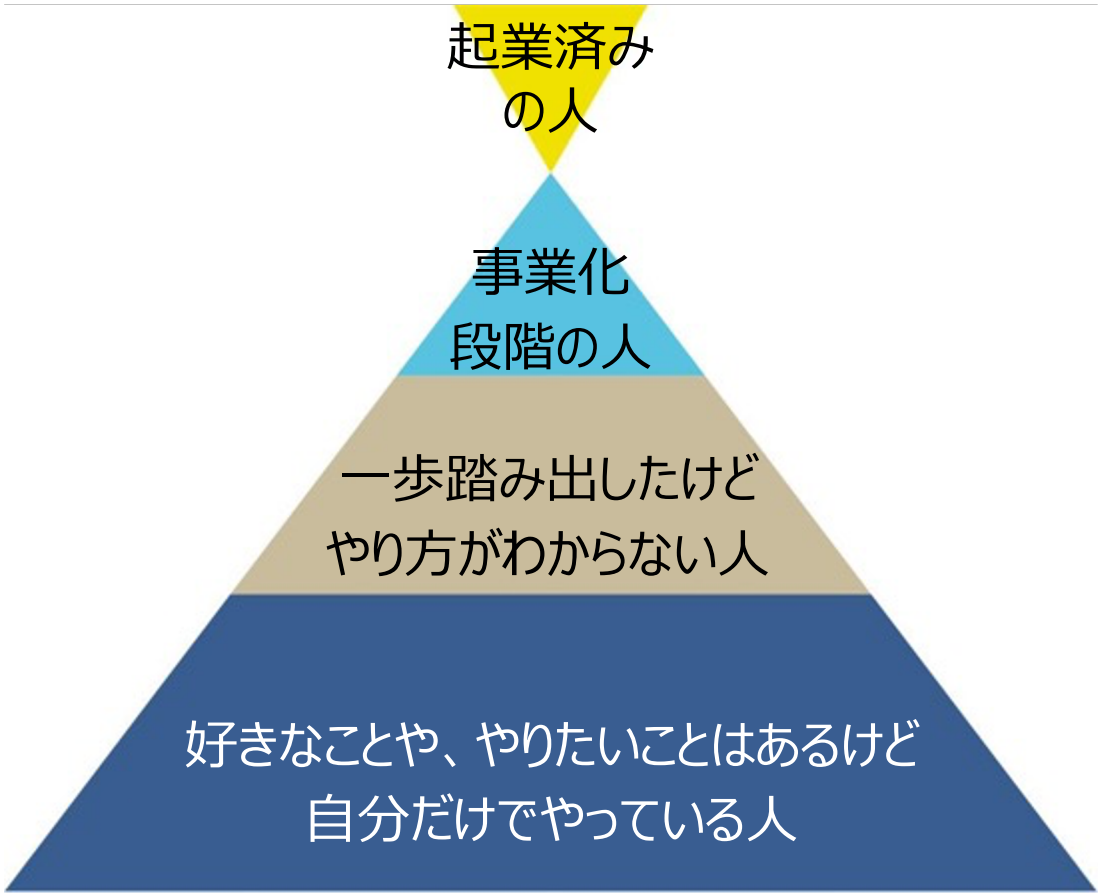
まちづくり産業交流プラザ TOMI＋

- 起業家の発掘と、継続的な支援
- 様々な立場のヒトが集い繋がることで、活気あふれるコミュニティの輪を創る
- 新しいモノやコトを生み出すための地方創生プラットフォーム

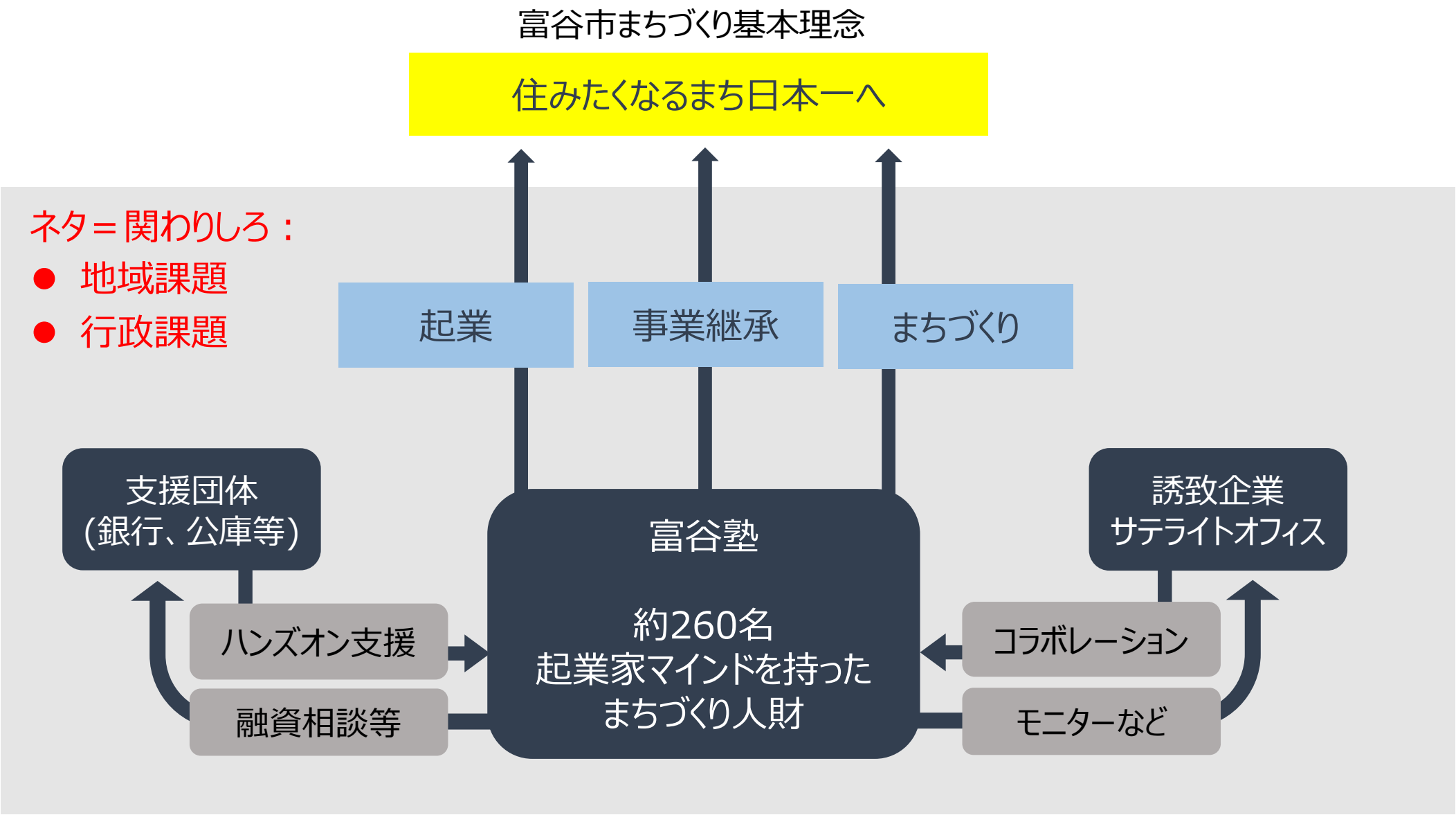
そのために：

- サテライトオフィス
- 富谷塾

富谷塾生構成


起業済み
の人
事業化
段階の人
一歩踏み出したけど
やり方がわからない人
好きなことや、やりたいことはあるけど
自分だけでやっている人

富谷塾


富谷市まちづくり基本理念
住みたくなるまち日本一へ
ネタ＝関わりしろ：
● 地域課題
● 行政課題
起業
事業継承
まちづくり
支援団体
(銀行、公庫等)
ハンズオン支援
融資相談等
富谷塾
約260名
起業家マインドを持った
まちづくり人財
誘致企業
サテライトオフィス
コラボレーション
モニターなど

ためまっぷ

「ここで生きててよかった」
誰もがそう思える社会へ